



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

新大学日语

听力与会话 ①

(修订版)

总主编 陈俊森

主 编 徐 曙



高等教育出版社
Higher Education Press



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

新大学日语

听力与会话 ①

(修订版)

Xin Daxue Riyu Tingli yu Huihua 1 (Xiudingban)

(第一版)

总主编 陈俊森

主 编 侯仁锋

副主编 徐 曙

编 者 吉田歌织 曹红荃 谈建浩



高等教育出版社·北京
HIGHER EDUCATION PRESS BEIJING

图书在版编目(CIP)数据

新大学日语听力与会话. 1/徐曙主编. —2版(修订本). —北京:高等教育出版社, 2010. 6

ISBN 978-7-04-029258-9

I. ①新… II. ①徐… III. ①日语-听说教学-高等学校-教材②日语-口语-高等学校-教材
IV. ①H369.9

中国版本图书馆CIP数据核字(2010)第081821号

策划编辑 李 炎 责任编辑 赵亚可 封面设计 王凌波
版式设计 刘 艳 责任校对 赵亚可 责任印制 尤 静

出版发行 高等教育出版社
社 址 北京市西城区德外大街4号
邮政编码 100120

经 销 蓝色畅想图书发行有限公司
印 刷 潮河印业有限公司

购书热线 010-58581118
咨询电话 400-810-0598
网 址 <http://www.hep.edu.cn>
<http://www.hep.com.cn>
网上订购 <http://www.landaco.com>
<http://www.landaco.com.cn>
畅想教育 <http://www.widedu.com>

开 本 787×1092 1/16
印 张 12
字 数 266 000

版 次 2002年5月第1版
2010年6月第2版
印 次 2010年6月第1次印刷
定 价 28.00元(含光盘)

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号 29258-00

修订版前言

一、修订背景

《新大学日语》系列教材是新世纪开始时，依据《大学日语教学大纲》编写的教材，自出版以来，受到了广大教师和学生的喜爱，对大学日语的教学起到了很好的促进作用。

2008年9月，教育部高等学校大学外语教学指导委员会日语组重新修订了教学大纲，制定出了适合各类学生的《大学日语课程教学要求》。随着中日交流的深入和扩大，社会对人才的需求发生了很大的变化，除了数量的扩大以外，在运用能力方面对日语使用者提出了很高的要求。为了适应新的社会需求，《大学日语课程教学要求》将教学目标定位为“培养学生不同层次的日语综合运用能力”，同时整合了传统的第一外语教学和第二外语教学，实行分级指导。教学安排共分为6个级别，其中1~4级各60学时，5级和6级各120学时。

依据《大学日语课程教学要求》，全国大学日语考试设计组制定了新的《大学日语四、六级考试大纲》，改革了以往的大学日语四级考试，新增设了大学日语六级考试，并于2009年6月开始在全国实施。

为了贯彻实施《大学日语课程教学要求》，并且与新的大学日语六级考试对应，我们决定对《新大学日语》系列教材进行修订。

二、修订原则

1. 贯彻执行《大学日语课程教学要求》中5级和6级的各项要求。
2. 适当兼顾新的“大学日语六级考试”。
3. 以提高学生的应用能力为主。
4. 吸收最新的日语教育理论和方法。

三、修订内容

阅读与写作

1. 练习的修订。

适当减少语言知识的练习，增加运用能力的练习。根据课程教学要求，增加了日译汉的练习，加强了阅读理解训练。阅读理解重在训练以下策略：理解主旨大意、判断作者的观点、态度、获取重要信息和特定细节、理解句子中省略或隐含的成分、理解句子之间的关系、理解指示词所指代的内容、理解文章中的关键词和关键句、理解复杂结构的句子意义。

2. 新增加写作训练。

新的课程教学要求提高了对写作的要求，例如，5级的要求是：“能完成一般性写

作任务，能写常见的应用文，能描述各种图表，能就一般性话题在半小时内写出250字的短文……”6级的要求是：“能就一般性的主题表达自己的观点，能撰写通知、报告、信函和所学专业论文的日文摘要，能在半小时内写出350字的短文……”将写作训练单独作为一个项目设立，就是为了充分贯彻这个新的要求。写作训练分为两个部分，一个是基础作文，主要训练写作的基本方法；另外一个实践作文，主要是应用型的写作训练。

3. 例句的调整。

对例句做了一定程度的调整，加强了句子的语篇功能，提高了应用价值。

听力与会话

4. 对第一册各课part1的第一题进行调整。将语音训练的内容改为跟读方式的准备练习，内容都是与本课任务有关的单句或短小会话，这个练习可以帮助学习者热身。

5. 对第一册各课part4和第二册各课part4的第一题进行调整。提出一个具体任务要求，让学生进行角色扮演，通过会话完成一个具体的任务，让会话成为一个有意义的言语行为。并且通过听范例，使之和会话的内容相关联，将听和说有机地结合在一起。有的课使用了辩论和演讲的形式，多种方式培养学生的实践能力。

除了以上修订内容以外，各册都对模拟试题进行了调整，使之更加符合学习目标，更加靠近大学日语六级考试的要求。另外，各册都在每课前增加了“学习目标”，使得教师和学习者能够一目了然地知道本课的任务要求。

此次修订是在2002年版的基础上进行的，我们对第一版的作者及相关人员表示衷心的感谢。

本系列教材被列为教育部“普通高等教育‘十一五’国家级规划教材”。

《新大学日语》系列教材修订委员会
2009年8月

本册使用说明

本教材是为以日语为第一外语的大学本科学生编写的，也可作为具有同等日语能力的学习者提高听解能力和口语交际能力的教材和自学课本。

本教材以功能交际法为基本教学指导思想，将《大学日语课程教学要求》中所提出的各项听说要求具体贯穿到本教材的各个典型听说场景中，同时给出相关的表达方式及其指导。本教材还以复习、整理为主线，以期帮助学习者将以前所学的知识系统起来，达到巩固、提高的目的。

本教材的特色是：高度涵盖《大学日语课程教学要求》所规定的内容，同时引入现代生活中必须掌握的词语，内容新颖，自然活泼，实用性强，循序渐进，难易度适中，听说有机结合，形式多样，图文并茂。每课设有具体学习目标，任务明确，整套教材与相关考试接轨。相信使用者会有耳目一新之感。

本教材包括两册学生用书和两册教学参考书。每册由15课组成，教学时间以两学期40~44学时为宜。

本册教材每课分为4个部分(Part1~Part4):

Part1为听音跟读简短功能会话。

听音跟读要求仔细听辨，反复跟读，掌握日语各种情景中的功能会话表达形式以及各功能表达的语音语调、节奏、语流音变（约音及其语音脱落）。这一部分的练习目的也是为了培养学习者的听说技能。在学习过程中尽量背下与功能意念相关的表述形式，进而创造性地回答其后的问题。

Part2为一篇10~15句左右的会话。

会话均根据《新大学日语阅读与写作（修订版）》相应课文或阅读文章编写而成，其内容基本相同，词汇、句型基本相关，在练熟会话的基础上，回答其后的问题。同时也可扩展内容，采用提问及回答的形式，提高口语表达的熟练程度。

Part3为听解10个较短的会话和一个较长的会话。

较短的会话只设1问，较长的会话设3~4问，听完后从选择项中选出一个最佳答案。题型与国内外同类考试接轨，与大学日语四、六级考试一致。听解前可预览选择项，做到心中有数，听解中可边听边记要点，以备选择参考。

Part4为听相关经典会话用日语口头回答有关问题或发表感想，也有归纳转述大意之练习。

听经典会话回答问题或发表感想等练习旨在培养学习者捕捉主要信息的能力，掌握相关表达，同时训练短期记忆能力。

归纳转述大意是听一篇300字左右的短文，要求边听边记，听完后写出这篇短文的3~4个关键词，然后根据提示，归纳大意、口头转述。

本教材最后还附有两套听解模拟试题，题型、题量均与大学日语四级考试相同，难度也相当。学完本教材，完成这两套模拟试题，大致可测出自己的听解水平，对参加大学日语四、六级考试和其他相关日语考试会大有裨益。

本教材出现的词汇释义一般只限于常用的及本课中出现的词义。每个词后以数码式标出声调类型。

语法注释以介绍用法为主，一般不列出译文。

会话提问、感想发表及大意归纳等虽给出了部分范文，但仅作为参考，不要求学习者所用的词汇或表达形式完全与范文一致。

本教材与《新大学日语阅读与写作（修订版）》配套，相辅相成，系统性强，一并使用时，宜先上《新大学日语阅读与写作（修订版）》，再学本书。当然也不妨独立使用。

希望本教材能成为广大日语学习者提高听说能力的良师益友。

目次

第 1 課 日常の挨拶 (一) 1

- Part 1 2
- Part 2 4
- Part 3 5
- Part 4 8

第 2 課 日常の挨拶 (二) 10

- Part 1 11
- Part 2 13
- Part 3 14
- Part 4 17

第 3 課 紹 介 19

- Part 1 20
- Part 2 22
- Part 3 23
- Part 4 26

第 4 課 先生の家を訪ねる 28

- Part 1 29
- Part 2 30
- Part 3 32
- Part 4 34

第 5 課 道を尋ねる 37

- Part 1 38
- Part 2 40
- Part 3 41
- Part 4 44

第 6 課 買い物をする 48

- Part 1 49
- Part 2 51
- Part 3 52
- Part 4 54

第 7 課 銀行で口座を開く 58

- Part 1 59
- Part 2 61
- Part 3 62
- Part 4 65

第 8 課 展覧会に誘う 69

- Part 1 70
- Part 2 72
- Part 3 73
- Part 4 76

第 9 課 留守番電話 78

- Part 1 79
- Part 2 81
- Part 3 82
- Part 4 85

第 10 課 旅行88

- Part 1 89
- Part 2 91
- Part 3 92
- Part 4 95

第 11 課 交通98

- Part 1 99
- Part 2 101
- Part 3 102
- Part 4 105

第 12 課 引越し109

- Part 1 110
- Part 2 112
- Part 3 113
- Part 4 116

第 13 課 図書館で119

- Part 1 120
- Part 2 122
- Part 3 124
- Part 4 126

第 14 課 病気診断130

- Part 1 131
- Part 2 133
- Part 3 134
- Part 4 137

第 15 課 病氣見舞い 141

Part 1 142

Part 2 144

Part 3 145

Part 4 148

模擬試験1 152

模擬試験2 156

単語索引 160

第 1 課



日常の挨拶(一)

学習目標

○ Part 1

1. ウォーミングアップ練習をして日常の挨拶①を学ぶ。
2. 会話を聞いて日常の挨拶①を学ぶ。

○ Part 2

1. 会話を聞いて大学での勉強法と目的を理解する。
2. 大学生活と勉強について日本語で自分の考えを述べる。

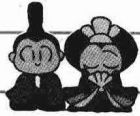
○ Part 3

1. 断り、人間関係、授受、選別、時間、場所、理由、物の用途、季節の特徴などを聞き取る。
2. 二つ以上の選択肢から選ぶ時の表現を学ぶ。

○ Part 4

1. 買い物をする時の表現を学ぶ。

Part 1



一 ウォーミングアップ練習

録音について次の文をリピートしましょう。

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> おはようございます。 | <input type="radio"/> こんにちは。 |
| <input type="radio"/> 行ってきます。 | <input type="radio"/> 行ってらっしゃい。 |
| <input type="radio"/> いただきます。 | <input type="radio"/> どうぞ、召し上がってください。 |
| <input type="radio"/> いい天気ですね。 | <input type="radio"/> 嫌なお天気ですね。 |
| <input type="radio"/> 今日は暖かいですね。 | <input type="radio"/> 今日はよく晴れてますね。 |
| <input type="radio"/> よく降りますね。 | <input type="radio"/> 風が強いですね。 |
| <input type="radio"/> 雨が止んでよかったですね。 | <input type="radio"/> 大分春らしくなりましたね。 |
| <input type="radio"/> やっと梅雨があけましたね。 | |

二 会話を聞いて練習しましょう。そして後の質問に答えましょう。

日常の挨拶 (一)

1. 人物：先生 学生
場所：大学のキャンパス
学生：おはようございます。
先生：ああ、おはよう。
学生：(今日は)いいお天気ですね。
先生：ええ、いいお天気だね。

2. 人物：近所同士
場所：家の前の道

- 女 : こんにちは。
男 : あ、こんにちは。
女 : 暑いですね。
男 : ええ、本当に。
女 : お出かけですか。
男 : ええ、ちょっとそこまで。
女 : そうですか。行ってらっしゃい。
男 : 行ってきます。

3. 人物 : 夫婦

場所 : 自宅の玄関(外出と帰宅の時の挨拶)

- 夫 : 行ってきます。
妻 : 行ってらっしゃい。
夫 : ただいま。
妻 : お帰りなさい。

4. 人物 : 主人 客

場所 : 主人の家(食事に招待する、される時の挨拶)

- 男 : どうぞ、召し上がってください。
女 : いただきます。
女 : ごちそうさまでした。
男 : いいえ、お粗末でした。

問題

1. 朝会った人に何と言って挨拶しますか。
2. 外出しようとする人は何と言って出かけますか。
3. 家族の人が家に帰ったら何と言って迎えますか。
4. 食事をする前に何と言ってから食べますか。

Part 2



会話の文を見ながら聞きましょう。そして後の質問に答えましょう。

賢明な選択

(A日本人・B中国人留学生の会話)

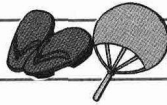
- A: 王さん、今日の入学式どうだった？
- B: うーん、そうだね。いろいろ考えさせられたよ。この大学に入学できて嬉しいけど、実は受験勉強でとても疲れたから密かに大学では休もうと思っていたんだ。
- A: たいていみんなそう思ってるよ。
- B: だけど、学長の挨拶を聞いて、将来は厳しそうだから、今からちゃんと勉強しておかないとだめだなあって思ったよ。
- A: それはそうだけど、授業がいろいろあって何を選んだらいいのか迷ってるんだ。
- B: 僕もだよ。履修カードを提出するまで三日しかないから、先輩に相談して、早く決めようと思う。
- A: でも、将来の目標によって、取る授業が違って来るから慎重に決めなくちゃいけないね。
- B: そうだね。ところで、大学での勉強の仕方をこれから考えないといけないね。
- A: これまで試験のための勉強しかしてないから、いわゆる暗記中心の勉強から、考えて自分の意見をまとめる方法にチェンジしなきゃね。
- B: それなら、大変だなあ。僕は書く力が弱いから。
- A: 大丈夫だよ。たくさん読んで、たくさん書けばそのうち力が付くよ。勉強はもちろん大切だけど、いろいろな活動に積極的に参加して、いろいろな人と出会って、何でも相談できる友達を作りたいね。一生の宝物になるから。
- B: 僕も日本人の友達がたくさん欲しいから、何か活動があったら誘ってね。よろしく。
- A: うん、分かったよ。一緒に頑張ろう。

(《新大学日语 阅读与写作1》 第1課 本文「賢明な選択」に基づく)

問題

1. 王さんは大学生生活について最初どう思っていましたか。学長の挨拶を聞いて、考えはどのように変わりましたか。
2. 二人は履修科目について何を話し合いましたか。
3. 高校まではどのように勉強してきましたか。
4. 大学ではどのように勉強しなければなりませんか。
5. みなさんはこれから四年間の大学生生活をどのように送りたいですか。

Part 3



→ 短い会話を聞いてその後の質問に答えましょう。答えは選択肢から適当なものを一つ選びましょう。

1. [A] ぜひ行きたい。
[B] あまり行きたくない。
[C] 近いうちに行く。
[D] もう一度行こう。
2. [A] 夫婦
[B] 兄弟
[C] 同僚
[D] クラスメート
3. [A] 男の人は女の人にパソコンを使わせてもらう。
[B] 男の人は女の人にパソコンを貸してもらう。
[C] 男の人は女の人にパソコンを貸してあげる。
[D] 男の人は女の人にパソコンを借りてあげる。
4. [A] 女の方は和食にしましたが、男の方は洋食にしました。
[B] 男の方は和食にしましたが、女の方は洋食にしました。
[C] 二人とも洋食にしました。

[D] 二人とも和食にしました。

5. [A] 11時45分
[B] 11時50分
[C] 12時
[D] 12時10分

6. [A] 1種類
[B] 2種類
[C] 3種類
[D] 何も買わなかった

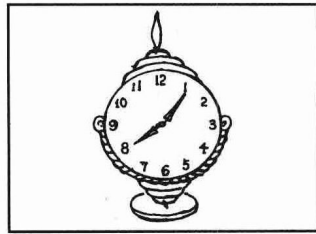
7. [A] 白い建物の隣にあります。
[B] 銀行の隣にあります。
[C] 喫茶店の隣にあります。
[D] ホテルの裏にあります。

8. [A] 辞書を戻してくれたことに対する感謝
[B] 辞書を片付けてくれたことに対する感謝
[C] 辞書を借りてくれたことに対する感謝
[D] 辞書を貸してくれたことに対する感謝

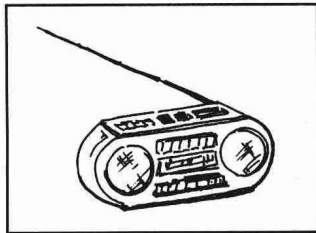
9. [A]



[B]



[C]



[D]

